

令和3年9月1日

広島県知事  
湯崎 英彦 殿

### 新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望

公明党広島県議会議員団  
団長 栗原 俊二

新型コロナウイルス感染症の「第5波」が猛威を振るっており、8月下旬、全国における1日の新規感染者数が2万5千人を超えた。また、重症者数は2千人を超え、最多を更新し続けている。

このような中、病床のひっ迫により、本来入院すべき感染者が自宅療養を余儀なくされるケースが増えており、千葉県では、自宅療養中の妊婦の入院先が見つからず、新生児が死亡する悲劇が起きた。

本県においても、新規感染者数が連日250人を超えており、病床や宿泊療養施設のひっ迫が懸念されるが、千葉県のような事例が二度と起きないように、しっかりと体制を整えておく必要があると考える。

また、感染力が強く、若い世代も重症化のリスクがある「デルタ株」について、本県における感染疑い例は8割弱まで増加しており、感染した場合の自宅療養への不安の声や、ワクチンを打ちたくても打てない若者からの不満の声が我々に届いている。

さらに、8月27日から「緊急事態措置」の適用期間に入ったが、度重なる休業要請に、県内の飲食等事業者から悲痛な声が届いている。

こうしたことを踏まえ、公明党広島県議会議員団として、次のとおり緊急要望するので、県民の声を反映した対策を積極的に講じられたい。

- 1 妊産婦など特別な配慮が必要な感染者を確実に入院につなげる体制整備
- 2 妊産婦が感染した場合の対応方針など、女性の安心につなげる情報の発信
- 3 抗体カクテル療法の推進に向けた体制整備
- 4 大学等接種会場の増設や、予約不要など手続きの簡素化による若者へのワクチン接種の推進
- 5 市町と連携した自宅療養者の生活支援の強化
- 6 広島県感染症拡大防止協力支援金の手続きの簡素化と迅速な支給